



### 東北オープンファクトリー フォーラムを郡山で開催



新潟県の「燕三条 工場の祭典」や大阪府の「FactorISM」等の先駆的事例のキーパーソンに登壇いただき、パネルトークを通して、新事業へのヒントや新たなつながりの創出、地域におけるオープンイノベーションの推進を目指します。



- ◆ 日時：2月17日(金) 13:30~16:00
- ◆ 会場：①郡山商工会議所 ②オンライン
- ◆ 定員：①50人 ②100人
- ◆ 申込：2月15日までに右上QRコードから。

### 福島県産業支援機関ネットワーク会議 (第4回ワークショップ)を開催【報告】

福島県内の各市町村や産業支援機関が、地域を超えて、企業のニーズシーズのマッチング、課題の分析や情報交換を実施してきたネットワーク会議の最終報告会を1月25日に、オンラインで開催しました。

2回のプレゼンテーションや伴走支援により、多くのマッチングにつながったほか、参加した各支援機関からは、「他地域の取り組み事例が学べた」「企業の課題解決へ向けて前進できた」等の積極的な意見が多く出たほか、コーディネーター同士の結びつきも一層強くなりました。



### 清陵情報高校がインキュベーションセンターを来訪

昨年12月12日に、清陵情報高校がイノベーションコースト構想人材育成事業の一環として、地元企業や産業支援機関へ訪問し、日本大学工学部及びものづくりインキュベーションセンターで学習しました。

インキュベーションセンターにおける活動内容の説明の後、入居企業(ソーシャルエリアネットワークス、benefic)が開発案件や課題、それにむけたチャレンジについて紹介しました。その後の質疑応答の中で、今後の学校活動における連携のご提案などがありました。



### 【コラム】郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

当社は、1960年に「陸奥測量株式会社」として創業し、現在、測量部門や建設コンサルタント部門、用地補償調査部門、情報システム部門等で公共事業を中心に業務を展開しております。

当社の強みの1つとして、情報システム部門があります。地理情報技術を活かした地図システムの構築をはじめとして、タブレット用アプリ、WEBアプリを開発提供し、自治体業務の効率化等に寄与しております。また、環境部門では、環境影響調査・評価により、地域の公共事業や民間開発事業をサポートしております。

近年は、三次元計測に力を入れ、乗用車で走行しながら三次元データを取得する高密度のMMS(モービル・マッピングシステム)やドローン・地上レーザスキャナーなどを導入し、実績を積み重ねております。さらには、社会資本整備・管理のDX化に貢献するため、BIM/CIMにも本格的に取り組んでおります。

※BIM/CIM:計画、調査、設計から3次元モデルを導入することで、事業全体における情報共有や効率化を図ることができる。

コンサルタント業務においては、人材育成が非常に重要だと考えております。そのため、社内外の講師による研修だけでなく、テーマを決めたグループ討議や業務成果発表会を実施するなどして、計画的に技術力や課題解決力・プレゼンテーション力等の向上に努めております。

令和元年の水害時は社屋が浸水し、社有車・機材等も被災しましたが、国県市町村の要請を受け、災害調査にいち早く着手し、地域が災害から復旧する一助になれたと考えております。

今後も『究極の地元企業』を目指し、総合建設コンサルタントとしての役割を果たしていく決意です。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議  
長谷川 潔  
(陸奥テックコンサルタント  
株式会社 専務取締役)

